

市民活動補助事業を決定しました

市民活動補助事業とは？

市民団体が、地域や社会のために自主的に取り組む市民活動などの事業を推進するための公募型補助制度です。下野市自治基本条例の基本理念である「市民が主役のまちづくり」を目的としています。

申請のあった事業は、陣内教授（宇都宮共和大学）を会長とする選考会で、公益性や発展性などを審査し、定められた基準を満たした事業に補助金を交付します。

令和4年度の補助事業が決定

今年度は12事業への補助を決定しました。10事業が昨年度からの継続、2事業が新規です。市の景観向上や子どもの健全育成、引きこもり支援の活動などを行う団体が対象となりました。

この補助をきっかけに、まちづくりの原動力となる活動が継続して実施されていくことが期待されます。



選考会の様子

市民活動補助事業一覧

No.	事業名（団体名）	事業内容	コース
1	ゆうがお混声合唱の集い （下野混声合唱団）	近接市において活動する混声合唱団を市に招へいし、合唱の集いを開催。他市団体との交流を深めるとともに、市民に質の高い合唱文化を提供し、当市の文化都市としてのイメージアップを図り、文化団体との幅広い交流により市内連携の進展に資する。	継続 5年目
2	下野かんぴょう・ふくべ振興 （下野かんぴょう・ふくべ振興の会）	地域の特産物である「夕顔の実」を乾燥させたふくべを資材として工芸品を制作し、栃木県独自の文化遺産として全国に発信する。ふくべを教材として市内小中学生を対象とした絵付け講座などを行い、郷土愛の醸成を図る。食にとどまらないふくべの魅力を伝え広める活動を展開する。	継続 2年目
3	若者サポート支援 （若者サポート・ハチドリ会の会）	引きこもりや不登校、ニートなど、悩みや困難を抱える若者とその家族を支えるための相談支援事業や、支援者を対象とした研修を、市内公共施設を活用して行う。社会福祉協議会や障がい児者相談支援センターとの連携を強化し、支援内容の充実を図る。	継続 4年目
4	キンボールスポーツ ボランティア養成 （下野市スポーツ推進委員会）	子どもから高齢者まで楽しめるニュースポーツである、キンボールスポーツのボランティア養成を行う。 キンボールは市の重点生涯スポーツとして位置付けられ、2022年栃木国体においては本市開催のデモンストレーション競技となっている。	継続 4年目
5	しもつけオープンガーデン 推進 ～おもてなしの心をお 庭に込めて～ （しもつけオープンガーデンクラブ）	個人や企業など団体の庭を一般に公開する「オープンガーデン」を開催し、市内の景観向上と市内外の交流人口増を図る。また、講座やバスツアーなどの開催により、事業への参加者を増加させるほか、ガーデンオーナーの栽培管理技術の向上を図る。県内外のオープンガーデン団体との交流により、県全体でのオープンガーデン活性化を目指す。 【4～6月 オープンガーデン開催】	継続 5年目
6	マママグマルシェ （マママグマルシェ実行委員会）	市内で子育て中、または子育てを検討している女性や家族が集うマルシェイベントを開催し、新たなコミュニティの創出や市の魅力発信を図る。今年度はかんぴょうをキーワードとしたマルシェイベントを開催し、家族や地域のつながりを深める。 【9月上旬 マルシェイベント開催予定】	継続 4年目